

二次採用 2024 年度 Challenge別冊【学 部】 (日本学生支援機構奨学金申請書類)

既に日本学生支援機構奨学金に採用され奨学金を受給されている方(休・停止中の方も含む)で、新たな奨学金を希望しない方は、本手続きは不要です。

※受給中の第一種(二種)奨学金に加え、第二種(一種)奨学金も追加したい場合は、本手続きを行ってください。

【注意】

- ◎国の修学支援制度(給付奨学金+授業料減免)にも併せて申し込む場合は、「国の修学支援制度申込要項」をお受け取りのうえ、修学支援制度要項に従ってスカラネット入力を行ってください。貸与奨学金も同時に申請が可能です。
- ◎本冊子で採用までのスケジュールをよく確認し、以下の手続き(スカラネット入力・確認書提出・マイナンバー郵送)を所定期間内に行ってください。春に入力をしている方も、再入力が必要です。
- ◎春・夏に奨学金登録を行っていない1年生で、日本学生支援機構奨学金への申請を希望する方は、以下「Ⅲ. 日本学生支援機構奨学金採用までのスケジュール・手続等」の⑤のとおり、高校の成績証明書を必ず提出してください。
- ◎スカラネット入力前に、『スカラネット入力ガイド』に記載された内容を確認したうえで、機構作成の冊子「貸与奨学金案内」綴じ込みの『スカラネット入力下書き用紙』を作成し、入力内容を確認してください。
※入力内容に不備がある場合、採用に至らない場合があります。
- ◎人的保証を選択する方は連帯保証人および保証人の選任条件をよく確認してください。また選任する方に事前に了承を得たうえで入力を行ってください。
- ◎スカラネット入力後にマイナンバー提出書を速やかに郵送してください。なお、給付・貸与両方の奨学金に申請する場合も「マイナンバー提出書」は1通のみ郵送してください。
- ◎マイナンバー提出に関する質問は、セット同封の書面に記載された専用コールセンターまでお問い合わせください。

I. 日本学生支援機構奨学金の手続きについて

以下の手続きを期限内に行うことで、日本学生支援機構奨学金への申請が完了します。スケジュールや詳細は、次ページのⅢを確認してください。

手続内容	参照項目
① Challenge 別冊(本冊子)の入手(所属学部)	Ⅲ-①を参照
② 確認書の作成・提出	Ⅲ-②を参照
③ 日本学生支援機構への申請(スカラネット入力)	Ⅲ-③を参照
④ マイナンバーの送付(宛先:日本学生支援機構)	Ⅲ-④を参照
⑤ (該当者のみ) <u>今年度、春・夏の奨学金登録を行っていない1年生は、成績証明書の提出が必要です。</u>	Ⅲ-⑤を参照

II. 本冊子の綴込書類

本冊子には、以下のとおり日本学生支援機構の申込関係書類(6種)が綴じ込まれています。申し込みに必要なとなりますので、不足書類がないか確認してください。※②・③は①に挟み込まれています。

- ① 2024年度 奨学金案内「奨学金を希望する皆さんへ」(以下、「奨学金案内」という)
- ② 2024年度「確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書」(以下、「確認書」という)
- ③ 2024年度「スカラネット入力下書き用紙」【貸与奨学金のみ申込み用】
- ④ 「スカラネット」入力ガイド(早稲田大学 学部版 貸与奨学金)※スカラネットID・パスワード記載
- ⑤ マイナンバー提出書のセット(封書)
- ⑥ 別紙「生計維持者が退職をした家庭への注意事項」

Ⅲ. 日本学生支援機構奨学金採用までのスケジュール・手続等

日 程	手 続
10月1日(火)～	① 二次採用 Challenge 別冊(日本学生支援機構奨学金関係書類)の受取(スカラネット用 ID・パスワード含む)〔所属学部で配付〕
10月1日(火) ～ 10月18日(金) 【期限厳守】	② 「確認書」の作成・提出(提出先:学部事務所) 必ず下記を参照の上で「確認書」を作成してください。 (注意 記入内容等に不備があると選考対象外になる場合があります) ≪「確認書」作成時のチェック事項≫ ☐ 本人欄の学籍番号はハイフン“-”以降の数字(CD)は記入不要(前8桁のみ)。 ☐ 住所欄の記入は、同上は不可。住所が同じ場合も正確に記入してください。 ☐ 一番下の「学校番号」「奨学生番号記入欄」は記入不要です。 ☐ 本人が必ず自署してください。 注意:本人の筆跡でない場合は不備書類扱いとなり、採用に支障が出ますので注意してください! 【注意】一度提出した書類については、返却しません。 ③ スカラネット入力 <必ず正確に入力して下さい> 入力ガイドを必ず参照の上、「スカラネット入力下書き用紙」を作成し、期限までにスカラネット入力を行ってください。入力完了後、表示される受付番号を下書き用紙に記入してください。※下書き用紙は提出不要です。 ④ マイナンバー提出書の提出(日本学生支援機構へ郵送) スカラネット入力後、マイナンバー提出書を専用封筒で日本学支援機構に郵送してください。 ※給付・貸与両方に申請する場合も「マイナンバー提出書」は1通のみ郵送します。 ⑤ 今年度、奨学金登録(春・夏)を行っていない1年生(2024年4月、9月入学者)は、高校の成績証明書(高校3ヵ年の評定平均値記載のもの)を<u>学生部奨学課</u>に提出してください。
12月9日(月) (予定)	⑥ 採用者発表の確認 MyWaseda による通知(メール)でお知らせします。 ⑦ 初回振込の確認 (12/11) ※スカラネット入力で指定した口座を記帳して確認してください。
12月下旬 (予定)	⑧ 採用手続ならびに返還誓約書交付(採用関係書類の受取)〔所属学部〕 採用者は所属学部で採用手続(奨学金採用関係書類の受取)を必ず行ってください。 ※採用手続を行わない場合、奨学金の振込が停止される場合があります。
2月上旬 締切(予定)	⑨ 返還誓約書の提出〔奨学課〕 ⑧にて交付を受けた「返還誓約書」を奨学課に提出してください。期限内に提出がない場合、奨学金の交付を停止し、既に交付済の奨学金を一括にて返還後、採用取消となることがありますので、ご注意ください!

IV. その他

1. スカラネット入力について

必ず、「スカラネット」入力ガイド（早稲田大学 学部版 貸与奨学金）を参照して、スカラネット入力下書き用紙に下書きの上、入力してください。本ガイドは早稲田大学の学生向けに作成したものです。スカラネット入力にあたっては、早稲田大学にて指定した入力事項ならびに注意事項がありますので、本ガイドの記載内容を優先して入力してください。なお奨学金登録で選択した内容とスカラネットで入力した内容が異なる場合には、スカラネット入力の内容が優先されます。

国の修学支援新制度を併せて申し込む場合は、「スカラネット入力ガイド 給付奨学金（貸与併用申込み）版」を参照し、1 度だけスカラネット入力を行ってください。※給付奨学金と貸与奨学金（緊急・応急採用）に申し込む場合は対応が異なりますので、別紙「生計維持者が退職をした家庭の学生への注意事項」をご確認ください。

①返還方式の選択【第一種奨学金のみ】

第一種奨学金の貸与を受ける方はスカラネット入力時に「定額返還方式」と「所得連動返還方式」のどちらかを選択します。詳細は奨学金案内の「9 返還方式」（P.18～P.19）をご確認ください。

②保証制度の選択

スカラネット入力時に保証制度（人的保証・機関保証）を選択する必要があります。（保証制度の詳細は、奨学金案内 P.22～27 および「奨学金情報 Challenge」P.14 を参照してください。）なお、スカラネット入力時に選択した保証制度は変更できませんので、慎重に行ってください。生計維持者の方ともよくご相談の上、選択してください。

③連帯保証人ならびに保証人の選定

保証制度で、人的保証を選択する場合は、連帯保証人（父か母）に加えて、保証人（父母・配偶者を除く、連帯保証人と生計を別にする65歳未満（スカラネット入力時の年齢）で4親等以内の親族（兄弟・おじ・おば等。学生・未成年者不可））」の個人情報を入力する必要があり、採用後発行される返還誓約書に印字されますので、必ず事前に確認・承諾を得てから入力してください。

④奨学金振込口座（本人名義）の登録

日本学生支援機構奨学金振込について、スカラネット入力時に本人名義の振込口座を登録する必要があります。詳細は奨学金案内P.15 を参照してください。

2. 返還誓約書について

人的保証選択者は、スカラネット入力時に選任した「連帯保証人」ならびに「保証人」の方の署名・捺印や各種証明書が必要となりますので、必ず事前に承諾を得ておくようにしてください。

提出期限（採用からおおむね2ヵ月後）を過ぎても提出がない場合は、採用取消の上、交付済奨学金を全額一括で戻入することが必要となりますので、採用者発表にて採用者になった方は、以下の添付書類を提出する用意をしておくことをお勧めします。

《保証制度別の必要書類等について》

保証制度 提出書類		機関保証制度選択者	人的保証制度選択者
返 還 誓 約 書 提 出 時	返還誓約書	本人署名	
		本人以外の連絡先に指定した方の署名が必要	連帯保証人（父か母） 署名・捺印＜実印＞
	—	—	保証人（父母以外 65 歳未満 4 親等以内の親族）署名・捺印＜実印＞
添 付 書 類	添付書類	・保証依頼書 （未成年の場合は親権者の署名・捺印 必要） ・本人の「住民票の写し」（原本）（一部対象者のみ）	・連帯保証人・保証人の「印鑑登録証明書」 ・連帯保証人の「所得証明書」 ・本人の「住民票の写し（原本）」（一部対象者のみ）

※「返還誓約書」提出時に連帯保証人（父か母）と保証人（父母を除く、連帯保証人と生計を別にする65歳未満（スカラネット入力時点の年齢）で4親等以内の親族（兄弟・おじ等。学生・未成年者は不可）の署名・捺印が必要です。

※「スカラネット入力」時に選択した保証制度は、返還誓約書提出時に変更することはできません。

3. 採用後の異動（奨学金の増額、辞退など）について

大学（奨学課）を通して手続を行います。採用手続時に交付する「日本学生支援機構奨学生の注意事項」ならびに「奨学生のしおり」を参照してください。

4. 移行について

移行とは、既に日本学生支援機構奨学金の貸与を受けている者が、新たな種別の奨学金に移行（第二種から第一種、第一種から第二種へ変更）を希望し、10月に遡って採用された場合のことを言います。

◎人的保証選択

第一種と第二種の年度内の交付分について、精算を行います。第一種と第二種の間でマイナスの差額が発生した場合、今後の支給額で調整をするため、振込が行われない月が発生することもあります。

◎機関保証選択者

それまでに振込済みの奨学金は交付を受けていただくことになります（採用の前月分受給で辞退）。

新たに採用された奨学金は遡って採用されるため結果的に併用で貸与を受けていた期間が発生することから、返還総額が大幅に増えることがありますのでご注意ください。

注意：人的保証選択者でも以下の場合、機関保証選択者と同様（前月分受給で辞退の扱い）になります。

- ・第二種奨学金に入学時特別増額がついている場合
- ・新たに採用となる月の前月に貸与中の奨学金で異動処理（貸与額変更など）があった場合 等

5. 留学中の申込について

留学中（休学での留学を除く）でも機構奨学金の申込および受給が可能です。日本学生支援機構貸与奨学金を受給している方は、「**留学時特別増額貸与奨学金**」を申請すると留学期間中に一時金を受け取ることができます。詳しくは、学生部奨学課へお問い合わせください。

6. 生計維持者が2023年10月以降(2024年9月入学者の場合は、2022年1月以降)に退職をして現在無職の方の申請について

日本学生支援機構では、生計維持者（原則父・母、父母がいない場合は生計を維持する人）のマイナンバーを通じて2023年（1月～12月）の収入に基づく税情報にて判定を行います。

2023年10月以降（2024年9月入学者の場合は、2022年1月以降）に生計維持者が退職し、その後無職となった場合で、退職後の家計の状況での判定を希望する場合は、スカラネットに入力いただく内容が通常と異なります。別紙をご確認いただき、緊急・応急採用のスカラネットの入力および必要書類を奨学課までご提出ください。なお、退職後に再就職した場合や退職前の税情報での判定を希望する場合、2023年9月以前に退職している場合は、本紙に沿って手続きを行ってください。

「必要書類」提出前のチェック表 ～提出前は忘れずに～

提出前には必ず次の項目をレ点で確認してください。

●スカラネット入力

- ☐①人的保証選択者は連帯保証人、保証人に事前に承諾を得た上で、入力しましたか？
- ☐②人的保証選択者は連帯保証人に父母のいずれか、保証人に父母・本人配偶者を除く65歳未満4親等以内の親族（学生・未成年者不可）を選任しましたか？

●マイナンバー提出書の提出

- ☐スカラネット入力後、案内に従って日本学生支援機構へマイナンバー関係書類を送りましたか？

※給付・貸与両方の奨学金に申請する場合も「マイナンバー提出書」は1通のみの郵送で結構です。

※給付奨学金と貸与奨学金（緊急・応急採用）に申し込む場合は対応が異なりますので、別紙をご確認ください。

●確認書

- ☐①本人が自署していますか？
- ☐②訂正がある場合は、訂正箇所にも二重線を引いていますか？

早稲田大学 学生部奨学課 月～金 10-16 時

TEL 03-3203-9701

E-Mail: kikou-tantou@list.waseda.jp ※ メールでのお問合せは、学籍番号・氏名を明記してください。

◎日本学生支援機構の以下のURLに参考になるビデオが公開されていますので、ぜひ参照してください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakuin/moshikomi/zaigaku/movie.html>

奨学金を希望する皆さんへ・奨学生となった皆さんへ（動画）

早稲田大学 学生部奨学課 月～金 10-16 時

TEL 03-3203-9701 E-Mail: kikou-tantou@list.waseda.jp

※ メールでのお問合せは、学籍番号氏名を明記してください。